

行政報告

Pick UP



活性化委員会を開催中

◇広島県の事務の権限移譲

11月21日に事務移譲具体化協議会を開催し、旅券や屋外広告物にかかる事務など40項目が19年度から移譲されることになりました。

◇海田町活性化委員会

11月21日に第6回委員会を開催し、「財政収支見通し」や「権限移譲」などについてご意見やご提言をいただきました。

◇瀬野川のハゼ、特に問題なし

9月23日に中店橋下で検体を採取し、カドミウム、総水銀、鉛、ヒ素、PCBの5項目を検査しましたが、特に問題はありませんでした。

◇駅南口土地区画整理事業

10月18日に地元説明会を開催しました。今後は西地区の区域内を4班に分け、班別説明会を行い、権利者からご意見を伺います。

◇第3回スマイルフェスタ・インかい

10月28日に福祉センターで開催されました。健康の増進や疾病予防などについて認識を深められたものと感じています。



世良洋子さんの講演会

自衛隊前の町道10号線を改修

陸上自衛隊前の町道10号線の歩道を改修します。尾崎川沿いの張り出し歩道を拡幅し、歩行者の安全を確保します。

Q 陸上自衛隊周辺であるが補助はないのか。

A 防衛施設局から、防衛施設周辺民生安定施設整備事業費補助金として補助対象工事費の75%分が補助される。

Q 工事中の安全対策はどうするのか。

A 片側通行をお願いすることになる。



広くなって通りやすくなります

子育てパスポート事業とは、自治体の子育て中の家庭を支援するため、提示することで企業や店舗などからサービスが受けられる「子育てパスポート」を発行するものです。平成十九年度からの実施に向けて、パンフレットなどを作成します。

子育てパスポート
準備金に48万円

12月定例議会を12月6日・7日に開きました。

補正予算や規約の改正などを慎重に審議した結果、広島県後期高齢者医療広域連合の設立については賛成多数で、その他の議案についてはすべて全会一致で可決しました。

ここでは議案の主なものを紹介します。

制度の概要

「健康保険法等の一部を改正する法律」により、現在、老人保健制度で医療を受けている七十五歳以上の高齢者を《後期高齢者》と定義することになりました。平成二十年度から新たに独立した医療制度が創設され、都道府県ごとに全市町村が加入する広域連合が保険者となり、医療事務を処理することになります。広島県でも、県内の二十三日町のすべてが加入する「広島県後期高齢者医療広域連合」を設立し、事務を行うこととなります。

広域連合とは

既存の市町村の区域はそのまま、広域にわたり処理することが適当であると認められる事務に關し、設立できます。



いつまでもお元気で

75歳以上高齢者の医療制度
賛成11・反対3の賛成多数で
広域連合の設立を可決

海田総合公園に指定管理者

指定の相手方

興園芸株式会社
広島市安佐北区亀山七丁目九番四五号

指定の期間

平成十九年四月一日から
平成二十三年三月三十一日まで

指定管理料（四年間）

五千三百八十三万円

海田総合公園の管理運営に指定管理者制度を導入します。町では十月に指定管理者を公募したところ、海田町と広島市の計四業者から申請がありました。施設の有効活用や利用者増への取り組み、管理実績及び金額などを総合的に検討した結果、興園芸（株）を管理者に指定しました。町が管理する場合に比べると、四年間で約二千三百万円を減額することができ



総合公園管理棟